

共的な見地からの権利集約に取り組んでいくところですが、残された土地所有者との訴訟において、市民の皆さんにご心配をおかけしていることは、誠に不本意であります。

今後とも司法の場において、本市の正当性を主張していくとともに、一日も早い駅前の再生と活性化の実現に努力します。

2 地域経済をけん引する 力強い産業の展開

▽企業立地の促進、港湾整備と ポートセールの推進

企業立地の促進については、ダブルポートに加え、苫小牧中央インターチェンジ(仮称)の開設による利便性向上をPRします。また、今春竣工が予定されている東港区の温度管理型冷凍冷蔵庫を核として、関係機関・団体とともに、食と物流が一体化した産業基地やフードロジスティクスの形成に取り組みます。

苫小牧港については、真古舞地区中央北ふ頭および商港地区南ふ頭などの整備を進め、滞船・混雑緩和と複合一貫輸送機能の強化による、物流機能の効率化を図るとともに、生産性および地域産業の競争力向上に努めます。

海外ポートセールスでは、今後も成長が見込まれる農水産物の輸出拡大に向け、関係機関と連携し、取り組みます。

▽雇用・労働環境の整備・充実

就職マッチングサイト「とまジョブ」を活用し、若者やUIJターン希望者へ市内企業の魅力発信を強化します。

また、合同就職説明会を札幌市で開催するとともに、民間の合同就職説明会への

助成を充実し、企業の採用力向上を図ることに加え、専門家による個別コンサルティングや職場環境改善への助成など、働きやすい職場づくりへの支援を行い、従業員の定着率向上を目指します。

さらに、女性や若者を対象に研修や職場体験を行う就業支援事業を継続するほか、北海道立苫小牧高等技術専門学院の入校生への技能習得奨励金を創設し、人材育成と雇用の確保に取り組みます。

▽新千歳空港の拠点形成強化と 周辺環境対策の推進

北海道内7空港の民間委託による運営事業が開始され、新千歳空港は、さらなる航空ネットワークの拡大や広域観光の振興、交通の要衝としての機能強化が期待されており、本市としても、北海道全体の成長に向けて関係自治体や運営事業者などと連携を強化します。

また、24時間運用拡大に伴う、住宅防音対策や地域振興対策を着実に進めます。さらに、在日米軍再編に伴う千歳基地での日米共同訓練の対応においては、市民の安全確保と生活環境を守るとともに、再編関連訓練移転等交付金を活用し、航路下地域の環境整備や市民生活の利便性向上を図ります。

本市の成長戦略の一つである、臨空ゾーンにおける国際観光リゾートの形成は、雇用の創出や地域経済の活性化に大きく寄与するものであり、今後もIR(カジノを含む統合型リゾート)誘致へのチャレンジを継続するとともに、国際リゾート構想の具現化に向けて、市街地の魅力を向上させるためのエリアコンセプトを策定し、

交流人口の増加につなげます。

3 地域で活躍する“ひと”を 育むまちの形成

▽地域福祉の推進

地域住民が抱える課題が複雑化、多様化していることから、暮らし全体を受け止める相談支援を行います。

また、ひきこもりやニートなど社会的に孤立している方に対しては、本人だけではなく世帯の課題としてサポートするほか、生活困窮者に対しては、就労や住居確保の援助を行うなど、柔軟かつ包括的な支援に引き続き取り組みます。

子ども家庭総合支援拠点と室蘭児童相談所分室の機能を有する児童相談複合施設は、令和3年1月の開設を目指して整備を進めており、児童相談の充実に向けて体制の強化を図ります。

▽子育て支援の充実

「第2期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、小規模保育施設の整備により、待機児童が発生している3歳未満児の受け皿を拡充するとともに、保育人材の確保および負担軽減の取り組みを継続します。

「苫小牧市新保育所整備計画」に基づき、みその・しみず保育園の統合、ひまわり保育園の民間移譲を進めます。

また、市内全ての児童センターの利用対象者を18歳まで拡大するほか、植苗小学校に新たな放課後児童クラブを開設し、児童の健全育成を支援します。

さらに、ひとり親家庭の支援として、中学生を対象とした学習支援事業を拡充し、子どもの学力向上や居場所づくりを

推進します。

子どもを持ちたい夫婦に対しては、不妊検査費用を助成するコウノトリ検査事業を開始し、不妊原因の発見につなげ、早期に治療を受けられるよう支援します。

▽市民スポーツの推進

わが国で半世紀ぶりに夏季オリンピック・パラリンピックが開催されることを踏まえ、全国初のスポーツ都市宣言のまち苫小牧から、東京2020大会を盛り上げます。

6月15日にオリンピックの聖火リレーを市内で開催するとともに、卓球男子日本代表に決定した本市出身の丹羽孝希選手をオール苫小牧で応援します。

8月には、パラリンピックの聖火リレー開催に伴う採火式を実施するほか、パラスポーツ体験会を継続開催し、障がい者スポーツの普及や市民理解を図ります。

また、白鳥王子アイスアリーナの電光掲示板と照明設備を改修し、氷都とまこまのシンボルの施設の魅力向上に努めます。さらに、老朽化したスポーツ施設の整備を計画的に実施し、安全で安心して利用できる施設運営を行い、スポーツ合宿誘致や市民の健康づくり役に役立て、スポーツによる活気あるまちづくりを推進します。

主要施策

- 1 共に支え合い健やかに暮らすまち
- 2 明日を拓く力みなぎる産業のまち
- 3 学ぶ喜びがあふれる文化の薫るまち
- 4 自然と環境にやさしいまち
- 5 安全・安心で快適に暮らすまち